

【小金井市】

■実施日時：令和3年11月19日（金）10：00～12：00

■参加部署：福祉保健部地域福祉課生活福祉係、生活保護担当、小金井市社会福祉協議会

■実施内容（取組状況の共有・意見交換）

（ひきこもり支援の中心部門）

- 福祉総合相談窓口（小金井市社会福祉協議会）
 - ・ 令和2年から設置。7名体制。自立相談と重層的支援体制事業に関わる職員が配置されている。
 - ・ 社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの資格を持つ職員も配置。就労相談、家計相談などを行っている。
 - ・ 地域生活の課題を丸ごと受け入れ、身近な地域での支え合い機能を高める役割を担っている。
 - ・ プラットフォームは今後設置予定。

（市の動き）

- 「相談支援包括化推進会議」を今後開催予定。
 - ・ 「支援会議」で福祉総合相談窓口に繋がっていない相談者の情報を共有する。
 - ・ 「支援調整会議」で支援プランを検討する。
 - ・ 「相談支援包括化推進会議」で支援に必要な関係機関の円滑な提供を行っていく。

（家族会）

- 「小金井ひきこもり家族会（KHK）Cocone ここね」ひきこもりの地域家族会連絡協議会居場所づくりの講座、ひきこもり、子どもなど行っている。
- 「家族の集い」社会福祉協議会家族会（KHK）に参加するのは少しためらわれている方向けに開催している。

（当事者会）

- 「居場所プロジェクト」市社会福祉協議会
現在、準備段階。年間12回の開催を予定している。職員がファシリテーターとして入り、どのような会にするかのルールやテーマに沿った話し合いなどが行われている。

（学校との連携）

- 不登校ケースから家族と連絡が取れないと子ども家庭支援センターから情報提供があり、社会福祉協議会と連携し、支援に繋がることもある。

（他機関との連携）

- 「地域住民懇談会」
農業を営んでいる民生委員の方の協力により、畑周辺の草むしり等の農園ボランティア活動を行っている。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

サポートネットにおける電話相談、メール相談、訪問相談の傾向について等